

## 第13回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ

### － 不死鳥の街から太陽光発電を！長岡 －

2012年7月から施行された日本版FIT「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により、各自治体や国内企業の多くがメガソーラー発電所の運営に乗り出したことは記憶に新しいところです。日本海側に位置する新潟県は、雪国としてのイメージが強く太陽光発電とは無縁と思われがちです。しかし新潟県企業局では、県が推進する「新潟版グリーンニューディール政策」の一環として、総計 21 メガワットの太陽光発電所の営業運転を行っています。実は、我が国で最初に運用を開始した商用メガソーラーは、2010年8月、新潟における「雪国型メガソーラー発電所」なのです。前年2009年に新潟市で開催した第175委員会 第6回シンポジウムが契機になったとすれば、本委員会にとっても喜ばしい限りです。

新潟県では古くから原油・天然ガスの開発が行われており、2015年4月現在で、原油は国内生産の61.9%、天然ガスは76.8%を占め、その生産量は全国1位となっています。新潟県のほぼ中央部に位置する長岡地域においては、明治期に始まった原油掘削設備のメンテナンス事業をルーツとした工作機械や金属加工等の産業が集約されています。

今回は、幾多の戦災と震災とを乗り越えてきた長岡を開催地とし、「不死鳥の街から太陽光発電を！長岡」、と題して本シンポジウムを企画いたしました。世界最先端の技術だけでなく地域の取り組みや、材料個々の物性理解とともに組み合わせの最適化が求められるタンデム型太陽電池を取り上げる予定です。主催団体の会員はもとより、会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

**主催** 日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 ( <http://www.gakushin175.org/> )

**後援** 長岡市、新潟県

**協賛** 新潟県太陽光発電導入促進協議会、応用物理学会 応用電子物性分科会/多元系化合物・太陽電池研究会、日本太陽エネルギー学会

**会期** 平成28年5月19日(木)午後から、20日(金)の2日間

**場所** アオーレ長岡 ( <http://www.ao-re.jp/> )

住所: 〒940-0062 新潟県長岡市大手町1丁目4-10 電話: 0258-39-2500

●JR 上越新幹線・信越線長岡駅下車(改札フロアと直結した通路で徒歩3分)

シンポジウム参加費	第175委員会登録委員 (登録委員は1名です)	学生	その他・一般
Early bird registration (平成28年4月28日まで)	7,000円	2,000円	12,000円
General & On-site registration (平成28年4月29日以降)	10,000円	5,000円	15,000円

※意見交換会参加費は別途 4,000円

### シンポジウムの内容

- (1) 結晶Si、薄膜Si、化合物薄膜、超高効率・集光形、色素増感・有機薄膜、ペロブスカイト、第3世代等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術・モジュール技術、評価技術、リサイクル技術、測定法、信頼性など
- (3) 太陽光発電システム(系統連系技術、フィールド試験、大規模発電、宇宙応用)および蓄電システムなど
- (4) NEDOプログラム関連等
- (5) 国や地方自治体のエネルギー政策、導入普及と地域連携
- (6) 基礎講座

\* 広く一般講演(口頭発表とポスター発表)を募集しております。

\* 招待講演、一般講演の他にも「タンデム型太陽電池の現状と展開を議論するパネルディスカッション」も予定しております。

※講演申込、参加登録はWeb登録となります。アドレスは、<http://www.gakushin175.org/registration.html>です。

### 講演申込手続き

講演希望者は、上記 URL にて発表題目、発表者名(連名)、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、講演概要(200字程度)を記入し、ご送信下さい。

講演申込の締切りは、平成 28 年 3 月 11 日(金) 17 日(木)です。

### ダイジェスト原稿の提出

提出された論文概要をもとにプログラムを作成し、申込者にお知らせ致します。講演者には、当日配布用のダイジェスト原稿(A4、2ページ以内)の作成をお願いいたします。シンポジウム事務局まで電子メールにて送付下さい。

ダイジェスト原稿の締切りは、平成 28 年 4 月 15 日(金)です。

### 参加登録

講演申込と参加登録は、別になっております。シンポジウムに参加を希望される方は、必ず氏名、所属、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、意見交換会参加の有無を Web にてご登録下さい。

参加登録および参加費振込の締切りは、平成 28 年 4 月 28 日(木)です。

### 実行委員会

委員長 長:片桐裕則(長岡高専)

副委員長 長:吉井明人(ナミックス)

プログラム委員長:荒木秀明(長岡高専)

プログラム副委員長:宮島晋介(東京工業大学)

プログラム委員:伊藤貴司(岐阜大学)、植田譲(東京理科大学)、宇佐美徳隆(名古屋大学)、大下祥雄(豊田工業大学)、大関崇(産総研)、大東威司(資源総合システム)、榎屋勝巳(ソーラーフロンティア)、黒川康良(名古屋大学)、小長井誠(東京都市大学)、近藤道雄(産総研)、時岡秀忠(三菱電機)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、田中誠(パナソニック)、仁木栄(産総研)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、松井卓矢(産総研)、増田淳(産総研)、宮島晋介(東京工業大学)、山口真史(豊田工業大学)、山田明(東京工業大学)、山谷宗義(京セラ)、山本憲治(カネカ)、吉川暹(京都大学)、若宮淳志(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

会場 係:大石耕一郎(長岡高専)、宮島晋介(東京工業大学)

### 事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-NE-15

東京工業大学 大学院理工学研究科 電子物理工学専攻 山田・宮島研究室秘書

古川 公子(庶務担当幹事)

電話:03-5734-2554、FAX:03-5734-2897、E-mail: furukawa.k.aa@m.titech.ac.jp

### 参加費・意見交換会費振込先

みずほ銀行 大岡山支店 普通預金

店番号 145、口座番号 2084534

にほんがくじゅつしんこうかいだい175いんかいだいひょうこな がいまこと  
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

### 日本学術振興会 産学協力研究委員会第 175 委員会 運営委員会

委員長:小長井誠(東京都市大学)

副委員長:山口真史(豊田工業大学)、近藤道雄(産総研)、田中 誠(パナソニック)

幹事:伊藤貴司(岐阜大学)、植田譲(東京理科大学)、黒川康良(名古屋大学)、松井卓矢(産総研)、宮島晋介(東京工業大学)

運営委員:宇佐美徳隆(名古屋大学)、大下祥雄(豊田工業大学)、大関崇(産総研)、大東威司(資源総合システム)、榎屋勝巳(ソーラーフロンティア)、時岡秀忠(三菱電機)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、仁木栄(産総研)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、増田淳(産総研)、山田明(東京工業大学)、山本憲治(カネカ)、山谷宗義(京セラ)、吉川暹(京都大学)、若宮淳志(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

### イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベティブPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。

### ホテル案内

長岡駅周辺には多くのホテルがあります。  
宿泊は、各自インターネットあるいは旅行業者を通じて、お早めにご予約ください。

### 昼食案内

会場のアオーレ長岡周辺には、駅ビルを含めて、多くの飲食店がございます。マップを参考にして、各自で昼食をお取りください。